

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 関連記者会見



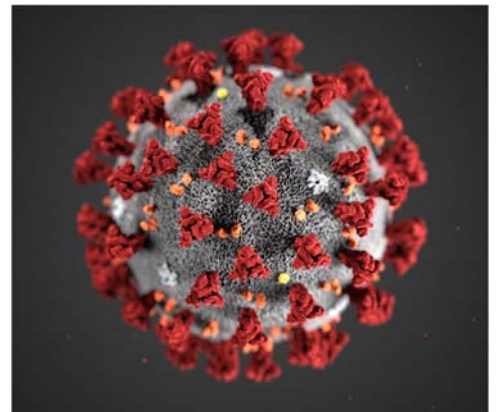
WORLD FEDERATION OF THE DEAF

世界の事例

各国手話言語の通訳実施

(一般財団法人全日本ろうあ連盟試訳)

世界ろう連盟による、世界各地の好事例紹介



新型コロナウイルス感染症についての記者会見 2020年3月15日 中国・北京





世界ろう連盟・世界手話通訳者協会 新型コロナウイルス感染症流行時の公衆衛生情報のアクセス提供に関する 共同ガイドライン

要点：

- あらゆる状況において、国レベルの資格を持ち、専門性を有する手話言語通訳者・翻訳者に通訳を依頼することがきわめて重要である。
- 情報は、あらゆるメディアのチャンネル・プラットフォームで得られるようにしなければならない。手話言語による情報が、一部のチャンネル（例：特定の人のみに向けたナローキャスト等）やウェブ上のプラットフォームのみでしか得られない場合、ろう者は重要な局面で、重要な最新情報を逃してしまう危険がある。
- 通訳者は物理的にその場において、画面上で見えるように、新しい情報を伝えている人と並列に位置しなければならない。その結果、ろう者は他の者と同様に、さまざまなメディア発信を通して情報にアクセスできるようになる。

2. 通訳者は常時全画面表示され、文字や画像が通訳者の上にかぶらないようにする。
3. 幅広い視聴者が容易に放送にアクセスするため、複数のプラットフォームで放送する場合でも、メインの公共テレビチャンネルでの放送は常に行う。

通訳者同席のニュースの生（特別）放送

1. 通訳者の位置とサイズの確定
 - a. 望ましい例：画面上の手話言語通訳の配置（クロマキー合成／グリーンバック合成使用）のサイズは、最小でも画面の半分とする。
 - b. 代替案として：通訳者は、実際に放送される画面の25パーセントのサイズの別画像におさめて配置する。
2. 幅広い視聴者が容易に放送にアクセスするため、複数のプラットフォームで放送する場合でも、メインの公共テレビチャンネルでの放送は常に行う。

手話言語通訳者同席の国の記者会見・緊急情報放送

1. 手話言語通訳者は（可能な限り）会見の場に同席し、話者の隣に立ち、聴衆の方を向いてカメラに収まる。そうすることで、複数のプラットフォーム・チャンネルが、通訳者と接点を持つことが出来る。

アフリカ

 マダガスカル



 モザンビーク



北米

 カナダ



 プエルトリコ (米国)



 カナダ



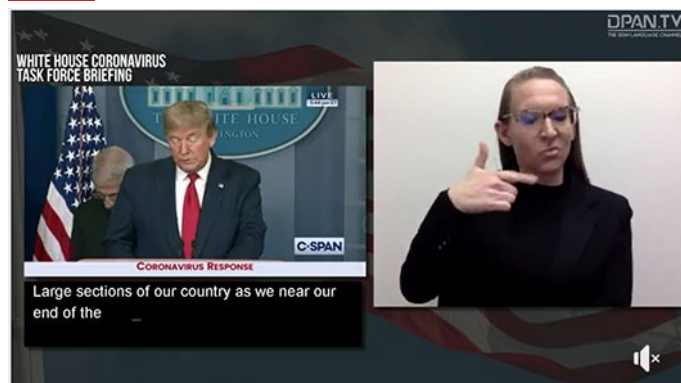
 米国・カリフォルニア州



 米国・ハワイ州



 アメリカ合衆国／米国



南米



アルゼンチン



ウルグアイ



コロンビア



パラグアイ（保健省）



ウルグアイ



パラグアイ（大統領）



中米



コスタリカ



アジア



モンゴル



台灣



サウジアラビア



タイ



韓国

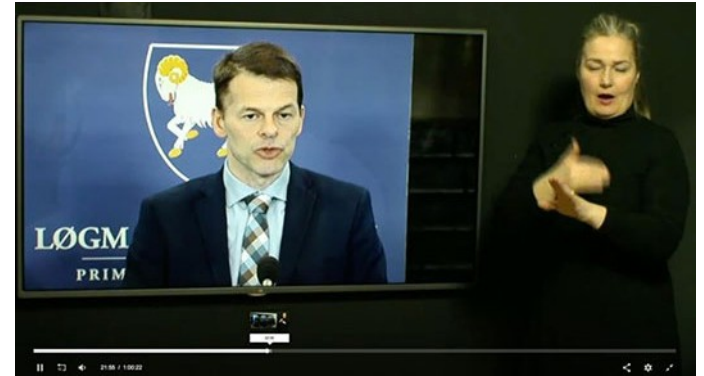


欧州

オーストリア



フェロー諸島



クロアチア



フランス



チェコ共和国



ドイツ



デンマーク



ドイツ



欧州



ギリシャ



ラトビア



アイスランド



リトアニア



アイルランド



マデイラ諸島（ポルトガル）



イタリア



欧州

マケドニア（保健省）



北アイルランド、アイルランド手話言語・イギリス手話言語通訳



マケドニア（大統領）



ノルウェー



ノルウェー



オランダ



オランダ



欧州



ポルトガル



ウクライナ



セルビア



イギリス



スウェーデン



イギリス



オセアニア

フィジー



サモア



ニュージーランド



ソロモン諸島



パプアニューギニア



カリブ諸国



グレナダ



トリニダード・トバゴ



ジャマイカ



本ガイドラインは、以下より引用しています：

[WFD/WASLI Guidelines on Providing Access to Public Health Information During the Coronavirus Pandemic.](#)

さらなる情報は：<http://wfdeaf.org/coronavirus/>